

1. 名西消防組合の沿革

昭和52年09月22日	名西消防組合設立推進協議会が発足された。
昭和52年10月27日	第1回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年03月01日	第2回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年04月24日	名西消防組合設立について徳島県知事に許可申請する。
昭和53年05月11日	地方自治法第284条第1項の規定により許可を受ける。
昭和53年06月20日	第3回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年06月23日	名西消防組合第1回組合議会を開催。
昭和53年07月01日	石井・神山両町から事務職員3名出向する。
昭和53年11月01日	消防職員30名採用する。(消防署長2名、消防士長5名、消防士23名)
昭和53年11月07日	初任科教育のため、徳島県消防学校に28名入校する。
昭和54年03月15日	消防本部及び石井消防署の敷地及び庁舎を石井町から無償貸付契約に基づき借受ける。
昭和54年03月23日	救急自動車(社団法人日本損害保険協会寄贈)を石井消防署に配置する。 救急自動車(徳島県共済農業協同組合連合会寄贈)を神山消防署に配置する。
昭和54年03月26日	消防ポンプ自動車(トヨタFJ56BD-1型)1台、広報車1台並びに 消防専用超短波無線電話一式は、石井町から無償貸付契約に基づき 借受け、石井消防署に配置する。 神山消防署の敷地及び庁舎並びに、消防ポンプ自動車(トヨタFJ56BD-1型)1台、広報車1台、可搬式動力消防ポンプ(B-3級)1台、 消防専用超短波無線電話一式は、神山町から無償貸付契約に基づき 借受ける。
昭和54年04月01日	消防本部並びに、石井・神山消防署の開署式を行う。 消防業務及び救急業務を開始する。 石井町から事務職員1名出向。(出向者4名となる)
昭和54年09月27日	消防専用超短波無線電話4台を石井消防署に設置する。
昭和55年04月01日	消防職員3名採用する。(事務職員を含め37名となる)
昭和55年06月04日	署長(近藤 清)退職。
昭和55年06月16日	消防職員1名採用する。
昭和55年08月01日	携帯用無線電話2台を神山消防署に設置する。
昭和56年02月24日	船外機付救助用舟艇一隻(石井町 近藤一行氏寄贈)を消防本部に 配置する。
昭和56年09月01日	消防職員1名採用する。(事務職員を含め38名となる)
昭和56年09月25日	救助訓練塔を消防本部に設置する。
昭和57年07月15日	携帯用無線電話2台を石井消防署に設置する。
昭和57年12月31日	消防長(大野治助)退職。
昭和58年01月01日	消防職員1名採用する。
昭和58年08月08日	小型動力ポンプ積載車を神山消防署に配置する。 小型動力ポンプ(C-1級)1台を石井消防署に配置する。
昭和58年11月07日	携帯用無線電話1台を神山消防署に設置する。
昭和59年08月30日	救急自動車(日本消防協会寄贈)を石井消防署に配置する。
昭和59年12月31日	署長(佐々木功)退職。
昭和60年01月01日	消防職員1名採用する。
昭和60年03月27日	車載用無線機(10W)を石井消防署に設置する。
昭和60年04月02日	消防ポンプ自動車(日本損害保険協会寄贈)を神山消防署に配置し、

	更新する。
昭和60年11月07日	防火広報車（日本防火協会寄贈）を消防本部に設置する。
昭和60年07月15日	石井町から事務職員 1 名出向する。（事務職員を含め39名となる）
昭和61年03月27日	石井消防署車庫及び事務室の増改築工事が完成する。
昭和61年06月01日	神山消防署の車庫新築及び食堂の増改築工事が完成する。
昭和61年08月01日	救急自動車（日本消防協会寄贈）を神山消防署に配置し、更新する。
昭和61年10月15日	車載用無線機（10W）を神山消防署に設置する。
昭和62年12月10日	消防職員 1 名退職。（事務職員を含め38名となる）
昭和63年01月01日	石井町へ消防職員1名出向する。（事務職員を含め37名となる）
昭和63年01月30日	神山消防署の指揮車を更新する。
昭和63年03月25日	石井町内谷・尼寺地区119番転送工事が完成する。
昭和63年03月31日	消防長（岩本治芳）退職。
昭和63年04月01日	消防職員 5 名採用する。（事務職員を含め41名となる）
平成01年03月31日	神山消防署のトイレ水洗化工事が完成する。
平成01年12月15日	石井消防署の消防ポンプ自動車（CD-1）を更新する。
平成02年03月31日	署長（近下 守）退職。
平成02年04月01日	石井町から職員1名出向する。
平成02年07月10日	神山消防署の救急自動車に防振ストレッチャーを設置する。
平成02年11月14日	小型動力ポンプ（B-2級）2 台を購入し、両署に配置する。
平成03年03月01日	石井消防署の指揮車を更新する。
平成03年07月31日	神山消防署に資器材搬送車を配置する。
平成03年12月13日	車載用無線機（10W）2 台、携帯用無線機（5W）4 台を石井消防署に設置する。
平成03年12月26日	石井消防署に資器材搬送車を配置する。
平成04年06月19日	石井消防署の救急自動車を更新する。
平成04年08月26日	携帯用無線機（1W）3 台を神山消防署に設置する。
平成05年02月26日	石井消防署仮眠室兼車庫の増築工事が完成する。
平成05年03月31日	消防長（大栗信常）退職。
平成05年04月01日	消防職員 4 名採用する。（事務職員を含め44名となる）
平成05年08月25日	救急自動車（日本消防協会寄贈）を神山消防署に配置し、更新する。
平成06年03月24日	石井消防署に小型動力ポンプ積載車を配置する。
平成06年03月25日	神山消防署庁舎庇拡張工事及び通信室内部改造工事が完成する。
平成06年04月01日	消防職員 3 名採用する。（事務職員を含め47名となる）
平成06年12月15日	石井消防署外部補修工事が完成する。
平成07年01月17日	阪神・淡路大震災へ職員派遣。
～ 3月 3日	（第1次から第5次まで14名）
平成07年07月25日	石井町内谷・尼寺地区119番直通回線設置のため転送電話廃止。
平成08年05月15日	携帯電話機 4 台（石井消防署 2 台、神山消防署 2 台）を設置する。
平成08年10月25日	石井消防署通信指令室及び車庫増築工事完成する。
平成09年02月28日	神山消防署庁舎防水工事完成する。
平成09年03月25日	神山消防署庁舎外部階段及び手すり塗装工事完成する。
平成09年04月01日	石井町へ消防職員1名出向する。（事務職員を含め46名となる）
平成10年03月10日	石井消防署の便所改築工事が完成する。
平成10年03月11日	神山消防署の事務室増築工事が完成する。
平成10年04月01日	神山町へ職員1名出向する。
	消防職員 2 名採用する。（事務職員を含め47名となる）
平成10年04月17日	救急救命士国家試験に 1 名合格する。

平成10年08月19日	水槽付消防ポンプ自動車（１－Ａ型・社団法人日本損害保険協会寄贈）を石井消防署に配置する。
平成10年09月24日	神山消防署の消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）を更新する。
平成11年02月26日	ホース洗浄機一式（石井町 河崎幸氏寄贈）を石井消防署に配置する。
平成11年04月01日	消防職員１名採用する。（事務職員を含め48名となる）
平成11年04月14日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士２名となる）
平成11年08月06日	石井消防署に資器材搬送車を配置する。
平成11年11月24日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士３名となる）
平成12年04月01日	石井町へ職員1名出向する。
	消防職員１名採用する。（事務職員を含め48名となる）
	徳島県消防防災ヘリコプター要員１名を派遣する。（３年間）
平成12年09月30日	署長（坂野明義）退職。
平成13年03月12日	神山消防署庁舎補修工事が完成する。
平成13年03月14日	石井消防署庁舎倉庫増築工事が完成する。
平成13年04月01日	消防職員１名採用する。
平成13年05月02日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士４名となる）
平成13年07月06日	石井消防署の消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）を更新する。
平成13年08月23日	石井消防署に救助工作車（Ⅱ型）を配置する。
平成13年11月30日	神山消防署の水道補修工事が完成する。
平成14年05月01日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士５名となる）
平成14年11月26日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士６名となる）
平成15年02月28日	消防職員１名退職。（事務職員を含め47名となる）
平成15年03月20日	石井消防署の仮眠室補修工事が完成する。
平成15年03月31日	消防長（原 勝美）退職。
平成15年04月01日	消防職員１名採用する。
平成15年05月14日	救急救命士国家試験に２名合格する。（救急救命士８名となる）
平成15年10月15日	神山消防署に高規格救急車を配置する。
平成15年11月26日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士９名となる）
平成15年11月28日	神山消防署の指揮車兼搬送車を更新する。
平成16年03月31日	事務職員１名退職。
平成16年04月01日	石井町から消防職員１名出向する。
	消防職員２名採用する。（49名となる）
平成16年11月22日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士10名となる）
平成16年12月01日	石井消防署に高規格救急車を配置する。
平成17年08月08日	石井消防署の指揮車を更新する。
平成18年02月28日	神山消防署庁舎外壁防水工事が完成する。
平成18年04月01日	徳島県消防防災ヘリコプター要員１名を派遣する。（３年間）
平成18年08月08日	石井消防署の消防車に電動ホースカーを設置する。
平成19年05月01日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士11名となる）
平成19年12月27日	庁舎耐震診断を委託する。
平成20年03月31日	消防長（有井 清）退職。
平成20年04月01日	消防職員１名採用する。
平成21年03月31日	消防長（高力 重佳）退職。
平成21年04月01日	消防職員１名採用する。
平成21年04月20日	救急救命士国家試験に１名合格する。（救急救命士12名となる）
平成22年10月07日	神山消防署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新する。
平成22年12月27日	消防本部及び石井消防署耐震化工事完了

平成23年03月14日	東日本大震災へ緊急消防援助隊としてポンプ車1台、職員5名を派遣
平成23年03月31日	消防職員3名退職する。
平成23年04月01日	消防職員3名採用する。
平成23年04月23日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士13名となる)
平成23年11月01日	神山消防署を神山町役場の南に移転。敷地及び庁舎を神山町から使用 貸借契約に基づき無償で借り受ける。
平成23年11月04日	神山消防署の開署式を行う。
平成24年02月07日	J A農協から助成金を受け神山消防署に新しく高規格救急車及び高度 救命処置用資機材を配置する。
平成24年04月01日	消防職員2名採用する。(51名となる)
平成24年11月16日	石井消防署に指揮支援車を配置する。
平成24年11月22日	石井消防署に新しく高規格救急車及び高度救命処置用資機材を配置する。
平成25年03月31日	消防長(入川 文明)退職。
平成25年03月31日	消防職員1名退職する。
平成25年04月01日	消防職員3名採用する。(52名となる)
平成25年04月22日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士14名となる)
平成26年03月31日	消防職員2名退職する。(救急救命士2名退職)
平成26年04月01日	消防職員4名採用する。(54名となる)
平成26年04月01日	神山消防署消防救急デジタル無線運用開始する。
平成26年04月21日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士13名となる)
平成26年04月30日	消防職員1名退職する(53名となる)
平成26年06月24日	神山消防署太陽光発電運用開始する。
平成26年10月16日	神山消防署に人員搬送車を配置する。
平成27年03月31日	消防長(鎌田 高広)退職。
平成27年03月31日	消防職員4名退職する。(内救急救命士1名退職)
平成27年04月01日	消防職員6名採用する。(54名となる)
平成27年04月01日	内救急救命士2名採用する。(救急救命士14名となる)
平成27年04月22日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士15名となる)
平成28年03月01日	石井消防署消防救急デジタル無線運用開始する。
平成28年03月27日	可搬ポンプ(B2級)積載車購入(軽四バン)
平成28年03月31日	消防本部財務会計システム運用開始
平成28年03月31日	消防職員1名退職する。
平成28年04月01日	消防職員4名採用する。(57名となる)
平成28年04月11日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士16名となる)
平成28年12月21日	石井消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を配置する。
平成29年03月31日	消防長(後藤 雅俊)退職。
平成29年03月31日	消防職員6名退職する。(内救急救命士1名退職)
平成29年04月01日	消防職員1名採用する。(51名となる)
平成29年11月02日	一般財団法人救急振興財団より当組合に救急普及啓発広報車が寄贈される。
平成29年12月18日	石井消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型)を配置する。
平成30年03月31日	消防職員3名退職する。
平成30年04月01日	消防職員4名採用する。(52名となる)
平成30年04月01日	消防職員3名(フルタイム2名、短時間1名)再任用する。
平成30年04月19日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士16名となる)
平成30年07月12日 ～07月28日	平成30年7月豪雨により広島県へ緊急消防援助隊として災害対応特殊消防ポンプ 自動車1台と職員派遣。(第1次から第5次まで計20名)
平成30年11月16日	消防本部に1台、軽自動車を配置する。

平成31年02月25日	神山消防署に1台、軽自動車を配置する。
平成31年03月31日	消防長（西田 照夫）退職。
平成31年03月31日	消防職員2名退職する。（内救急救命士1名退職）
平成31年03月31日	消防職員2名再任用期間満了により退職する。
平成31年04月01日	石井町から消防職員1名出向する。
平成31年04月01日	消防職員1名採用する。（51名となる）
平成31年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用（年次）更新する。
令和01年06月06日	救急救命士国家試験に1名合格する。（救急救命士15名となる）
令和01年10月01日	庶務課から総務課へ課名変更する。
令和01年10月23日	神山消防署に消防活動用二輪車を配置する。
令和01年12月24日	高度救命処置用資機材（石井町 高橋 幸子氏寄贈）を石井消防署に配置する。
令和02年03月31日	消防職員1名退職する。
令和02年04月01日	消防職員1名（フルタイム1名）再任用する。
令和02年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用（年次）更新する。
令和02年04月16日	救急救命士国家試験に1名合格する。（救急救命士16名となる）
令和02年07月15日	消防職員1名退職する。
令和02年12月02日	神山消防署に高規格救急車を配置する。
令和03年02月10日	石井消防署に資機材搬送車を配置する。
令和03年03月31日	消防職員1名退職する。
令和03年03月31日	消防職員1名（短時間1名）再任用期間満了により退職する。
令和03年04月01日	消防職員1名（フルタイム1名）再任用する。
令和03年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用する。
令和03年04月01日	消防職員3名採用する。（再任用職員含め53名となる）
令和04年02月09日	石井消防署に救助工作車を配置する。
令和04年02月25日	石井消防署に高規格救急車を配置する。
令和04年03月31日	消防職員1名（フルタイム1名）再任用期間満了により退職する。
令和04年03月31日	石井町へ職員1名出向する。
令和04年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用（年次）更新する。
令和04年04月01日	消防職員2名採用する。（再任用職員含め53名となる）
令和04年04月18日	救急救命士国家試験に1名合格する。（救急救命士18名となる）
令和05年01月30日	石井消防署に人員搬送車を配置する。
令和05年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用（年次）更新する。
令和05年04月01日	消防職員1名採用する。（再任用職員含め54名となる）
令和05年04月12日	救急救命士国家試験に1名合格する。（救急救命士19名となる）
令和05年05月24日	石井消防署に消防活動用二輪車を配置する。
令和06年04月01日	消防職員1名（短時間1名）再任用（年次）更新する。
令和06年04月01日	消防職員1名採用する。（再任用職員含め55名となる）
令和06年04月12日	救急救命士国家試験に1名合格する。（救急救命士20名となる）
令和06年07月31日	消防職員1名退職する。
令和07年03月31日	消防職員1名（短時間1名）再任用期間満了により退職する。
令和07年04月01日	消防職員2名採用する。（55名となる）

2. 名西消防組合の位置

本組合は、都市近郊の石井町と山村の神山町との2町で構成され、本部は四国山脈と讃岐山脈の山峡をぬって東流する吉野川右岸、農住の町石井町に位置し、石井消防署と併設している。神山消防署は、すだちの里神山町の中心地に置かれている。

位置 名称	消 防 本 部	石 井 消 防 署	神 山 消 防 署
東 経	134° 26' 32"	134° 26' 32"	134° 21' 02"
北 緯	34° 04' 34"	34° 04' 34"	33° 58' 00"
所 在 地	徳島県名西郡石井町 高川原字高川原 6 6 の 8	本 部 併 設	徳島県名西郡神山町 神領字本野間 9 7 番

※経緯度は世界測地系(日本測地系2000)に従った座標値です。
(国土地理院 地図閲覧サービスから取得)

3. 管内町勢

行政区分 区分	面 積	令和7年3月31日現在	
		世 帯 数	人 口
石 井 町	28.85km ²	10,993戸	24,449人
神 山 町	173.30km ²	2,390戸	4,594人
計	202.15km ²	13,383戸	29,043人